

# 体育科研究部

## 1 研究テーマ 「自ら学びをつくり、豊かな自己実現をはかる体育科教育」

## 2 研究テーマについて

本研究会のテーマ「自ら学びをつくり、豊かな自己実現をはかる体育科教育」の実現に向けて、18支部・7つの領域研究部・4つの行事推進委員会・6つの専門部委員会で感染症対策を施す中、「生涯にわたって健康を保持増進し運動に親しむ」子どもの育成を目指し、研究活動に取り組んだ。

## 3 研究活動および行事推進の方針

- (1) 研究会の組織活動を通して、体育科教育の研究、研修を深める。
- (2) 本市小学校児童の体力の向上に努める。
- (3) 各研究部・委員会・各支部の連絡を密にして、活動を高める。
- (4) 横浜市教育委員会の事業に協力する。
- (5) 会員相互の親交を深める。

## 4 主な年間活動（事業）報告

月	内 容	会 場 ・ 方 法
4月	企画会 総会	紙面開催 Ycanメール・小体研メールシステム
5月	企画会 ～ 各部会年間計画立案 ～ 体育科経営研修開講式	横浜市健康福祉総合センター 中止
6月	企画会	花咲研修室
7月	夏季体育指導法研修会 体育科学講座 企画会	中止 中止 開催せず
8月	第64回全国小学校体育科教育研究集会・北九州大会 教育課程研究協議会（体育科）	中止 e-ラーニング
9月	領域研究部授業研究会（水泳） 企画会	中止 花咲研修室
10月	体育実技研修会 企画会 第2回オリ・パラスポーツフェスティバル	中止 横浜市健康福祉総合センター 中止
11月	第70回横浜市立小学校体育大会 企画会	中止 三ツ沢小学校
12月	市一斉授業研究会〈領域研究部授業研究会〉 （体づくり運動、器械運動、ボール運動、陸上運動、表現運動、保健） 第60回横浜市立小学校体育実技発表会 企画会	中止 中止 青少年育成センター
1月	横浜市学校体育研究発表会 体育実技研修会	中止 中止
2月	企画会	ZOOMによるオンライン会議
3月	年度末総会、第二次研究大会	Ycanメール・小体研メールシステム

## ○ 行事推進委員会

- (1) 体育大会委員会 ○第70回大会の計画
- (3) 実技発表委員会 ○横浜武道館にて行われる次年度大会の計画
- (4) 研究集会委員会 ○第二次教育研究大会、県小体研研究大会等計画・運営
- (5) 研修委員会 ○実技研修会計画、体育科経営研修計画

## ○ 専門部委員会

- (1) 編集委員会 ○会報259号～261号の編集発行
- (2) 体育読本検討委員会 ○体育読本の内容検討
- (3) 体育科経営検討委員会 ○体育部運営Q&Aの作成
- (4) 調査統計委員会 ○体育科学習指導に関する調査、県調査統計委員会への協力
- (5) 情報委員会 ○本研究会のホームページの運営
- (6) オリ・パラ教育推進委員会 ○オリ・パラ教育プログラム策定、オリ・パラスポーツ体験の企画

## ○ 各支部

各支部間の情報交換をし、支部活動の活性化を図ることができた。

## ○ 企画会

役員、世話人校長、副校長、各研究部長、各委員長、各支部長で構成し、各研究部・各委員会・各支部の活動計画等を審議した。また、それらの連絡調整を図ることができた。(計9回)

## 5 研究の成果と課題

本研究会のテーマ「自ら学びをつくり、豊かな自己実現をはかる体育科教育」の実現に向けて、18支部・7つの領域研究部・4つの行事推進委員会・6つの専門部委員会で感染症対策を施す中、研究活動に取り組んだ。「今できること」に視点を当て、これまでの活動を見直し、先を見通した取組を進めることができた。

社会情勢を鑑み、総会では資料をYCANメールで送信、紙面にて開催した。議案の議決に関しては、小体研のメールシステム・アンケートを活用した。

各領域研究部、行事推進委員会、専門部委員会、支部においては、YCANメールによる提案や検討、参加人数の制限を設けての研究会の開催、ZOOMによるオンライン会議による開催など、工夫して活動を行った。

7つの領域研究部や18区の支部においては、これまでの研究成果をふまえ、感染症拡大防止対策をとりながら理論研修や実技研修を通して研究を深めることができた。

水泳運動研究部では、水泳指導が例年通りに実施ができない中、各校での指導に生かせるように「水遊びや水泳運動の心得の展開例」を発信した。また、今年度より、全領域の研究成果を小体研のホームページにアップし、共有できるように計画している。

3月の年度末総会、第二次研究大会でも、提案資料をYCANメールで送信し、紙面にて開催した。専門部報告として調査統計委員会の活動報告、7つの領域研究部の研究発表、そして、令和元年度の体育科経営研修に参加した3つのグループの研究発表を公開することができた。

今年度は、多くの行事や活動が縮小・中止となったが、会員が一丸となって、アイデアを出し合いながら研究の歩みを止めることなく活動に取り組むことができた。今後も、体育科指導の充実のために小体研の組織力を生かした活動を進めていく。